



特集1

スポーツ産業の創出 で強い沖縄経済の 構築を目指そう!! (その2)

～「沖縄スポーツ産業クラスター」の形成に向けて～

沖縄総合事務局では、沖縄経済を支える国際的な「スポーツ産業」の創出を目指す取組を始めました。今回は、前号に引き続き沖縄スポーツ産業クラスター形成に向けた取組をご紹介します。

アドバイザリーボードの設置

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック等、スポーツのビッグイベント開催に向け、消費・投資マインドの向上、海外から日本への関心が高まりつつあります。

沖縄総合事務局では、この機会を最大限に活かし、沖縄の温暖な気候や特色ある生物資源、癒やしの空間など人々を惹きつける魅力ある地域資源とも融合した沖縄における新たなスポーツ産業の創出を目指します。その一環として、県内の産学官からなる「沖縄スポーツ産業クラスター検討会議（アドバイザリーボード）」を設置しました。県内外の有識者との議論を通じて沖縄のスポーツ産業クラスター形成に向けた方向性の確認や戦略的取組の推進及び情報の共有を行い、実現力を高めていくことを目的としています。

アドバイザリーボードの開催

去る十月一日（土）に第1回アド

バイザリーボードを那覇第2地方合同庁舎1号館2階大会議室にて開催しました。

冒頭の主催者挨拶では、仲程倫由沖縄総合事務局次長から「沖縄スポーツ産業クラスター形成の実現には、地元産業界の参画、地域振興、国際的な競争力、人材育成、ビジネス環境整備等様々な論点がある。そのため、今後、沖縄を拠点とする国際的なスポーツ産業創出に向けた活発な議論と関係各位の協力添えをお願いしたい。」と挨拶がありました。第一部では、寺家克昌沖縄総合事務局経済産業部長及びクラスターマネージャー寺尾淳氏などから、当局で検討を進めている「沖縄スポーツ産業クラスター形成」に向けた背景、目的、コンセプト、さらには、沖縄におけるスポーツ産業の拠点化についての取組及び推進体制などの案について、説明を行いました。

その後、第二部では、株式会社日本政策投資銀行地域企画部参事役桂田隆行氏から「GDP（国内スポーツ総生産）と事例でみる我が

国スポーツ産業の発展可能性と沖縄への期待」、スポーツ総合研究所株式会社代表取締役広瀬一郎氏からは「スポーツマネジメント『3.0』と沖縄スポーツ産業クラスターへの期待」と題してご講演いただきました。桂田氏からは「日本のスポーツ産業市場規模の発展可能性は高い。また、沖縄におけるスポーツ産業の比率は他県よりも高く、今後期待できる産業である。」とお話がありました。また、広瀬氏からはスポーツマネジメントのこれまでの流れについてご説明があり、一般的なビジネスとスポーツビジネスの考え方の違いについてお話がありました。さらに、スタジオアムの多機能型施設整備についてもふれ、競技場としてだけではなく、様々な社会的機能を併せ持つ施設整備の新たな視点についてご講演いただきました。

本会議には自治体、経済界、学会等から12名の委員が出席し、「スポーツビジネスにおいて期間を定め、定量的な目標値を共有するべきだと思う」、「ひとつの自治体だけでは施設の維持管理コストが負担になっていくため、県や近隣市町村との連携を推進し、ネットワーク化していきたい」など、様々な視点から沖縄におけるスポーツ産



アドバイザーボードの様子

業の在り方についてご意見をいただきました。また、本会議に先駆けて八月に開催された、スポーツ産業創出に向けた機運の全県的な醸成を目的とする「スポーツ事業者等シエルパ会合」に出席した自治体職員やスポーツ関連事業者等から60名余が参加し、大きな盛り上がりを見せました。

今後は、「スポーツサイエンスパーク」「スポーツ経営人材育成」「スポーツエキスポの開催」等の論点について、ワーキングチーム(WG)や先進事例調査等で深堀し、十二月、二月にも開催するアドバイザーボードでのご議論を踏まえ、国際競争力の有するスポーツ産業クラスター形成に向けたアクションプランを策定してまいります。

出口イメージ① スポーツサイエンスパーク

研究・実践・育成の拠点を核として県全体をスポーツサイエンスパーク化し、世界から集客する

スポーツサイエンスの研究・実践の拠点



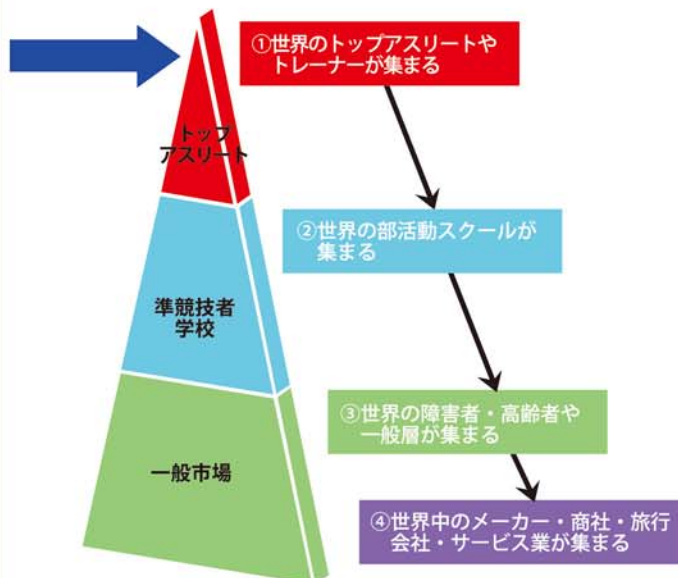
アメリカ・ヨーロッパ・日本等世界各地の最先端の点を導入し、沖縄固有の資産を活かして、各拠点の課題を解決する拠点を創造する

トレーナーアカデミー

世界トップのノウハウを学んだ広義のトレーナー（トレーナー・理学療法士・ドクター・栄養士等）を育成する、世界的な拠点を創造する

県全体の資産・施策の統合

拠点を核にして、県内の既存の施設をリノベーションしてワンストップで提供する体制を築く。また、県の教育・産業振興・スポーツ関連の施策を統合し、県全体としてのスポーツひいてはヘルスケアの拠点を築く



出口イメージ② スポーツ経営人材育成のプラットフォーム構築

有識者との研究・議論を深め、スポーツ MBA 等の整備によるプロの経営人材の沖縄着地・育成・輩出の戦略を立案する

